

IRIS療法 (S-1+CPT-11)						
		Day				
薬剤名	用法用量	1	8	15	21	28
イリノテカン (CPT-11)	125mg/m ² ※1 点滴静注 (90分)	↓		↓		
TS-1 (S-1)	1回40mg/m ² 1日2回 経口		→	14日間 ※1		

※1 アバスチンありの場合は100mg/m²

※2 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後からの投与であれば15日目朝までの内服となる

【TS-1投与量】

体表面積	1回使用量
1.25m ²	40mg/回
1.25m ² 以上1.5m ² 未満	50mg/回
1.5m ² 以上	60mg/回

【制吐対策】

① 5-HT受容体拮抗薬 (Day1)
② デキサメタゾン静注6.6mg 1V (Day1) デキサメタゾン経口8mg (Day2~3)

【基本事項】

治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん

【レジメンポイント】

- ①前投薬の確認、イリノテカンは催吐性リスク中程度、デキサメタゾンは必要時
- ②白血球数3000/mm³未満、好中球が1500/mm³未満または血小板数が10万/mm³未満の場合は投与を中止または延期

【併用禁忌薬】

フッ化ピリミジン系の薬剤、最低7日間あいていることを確認

※フェニトイン、ワルファリンは併用注意

イリノテカンはCYP3A4で代謝されるため併用薬注意、グレープフルーツも

【主な副作用】

下痢、骨髓抑制、悪心や口内炎、脱毛、色素沈着、発疹